

令和3年度 入間野中学校区小中一貫教育推進事業 (入間野中学校・入間野小学校・南小学校)

1 研究主題 「小中学校の円滑な接続に向けた共通理解と実践」
～9年間を見通したカリキュラムの編成を目指して～

2 研究への取り組み方針

小中学校一貫教育に向けた研究児童生徒への指導方法の共通理解及び共有を図り、小中一貫教育の推進を実践する。

3 研究への取組・研究経過

目指す児童生徒像 「主体的に取り組む児童・生徒」
「自己表現できる児童・生徒」
「地域を誇れる児童・生徒」



(1) 小中合同研修会 (8月27日(金)) ⇒コロナ禍のため中止

- ①分科会(予定) 「生徒指導」・・・不登校傾向児童生徒、登下校、課題として「あいさつ」「言葉づかい」の徹底
「学力向上」・・・全国学調分析、課題として「家庭学習」の習慣化
「道徳」・・・評価の方法を小中でそろえる。生徒会との関連
「体力健康」・・・体力、健康面における重点目標
「英語」・・・英語(活動)や国際理解における重点目標・英語ノート
「特別活動」・・・各学校の学校行事(時期や内容)の情報交換

(2) 小中連絡会

- ①第1回(6月9日(水))
入間野小・南小の職員が入間野中の全クラスの授業参観
⇒児童生徒の情報交換と課題の共有
- ②第2回 ⇒コロナ禍のため中止

(3) 小中一貫教育に向けた教育課程編成

小学校高学年で、一部教科担任性の導入(社会・理科・図工・英語・家庭科・書写)

(4) 児童・生徒交流 ⇒コロナ禍のため中止

- ①小学生の中学校体験入学：中学校にて授業を体験。生徒会による学校紹介。
②中学生からの6年生へ：中学校から中学校生活を分かり易くまとめた掲示物を小学校で掲示、紹介。

4 成果と課題

- (1) 成果：本年度はコロナ禍のため、教員同士の交流がほとんど設定できなかつたため、十分な成果を得ることがなかつた。コロナ禍でもできる手段を講じる必要がある。
- (2) 課題：① 指導法の共有など小小間の連携を深め、中学へのより円滑な接続を目指す。
② 生徒会・児童会との交流をはじめ、児童生徒の直接的な交流の機会を設ける。

令和4年度より **コミュニティスクール(学校運営協議会制度)**がはじまります。

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教行法第47条の5)に基づいた仕組みです。(文科省HPより)